
滋賀医科大学NCD疫学研究センターとスタンフォード大学のCARE (Center for Asian Health Research and Education) がMemorandum of Understandingを締結 —アジア人のヘルス向上に向け共同研究を加速—

《概要》

2022年2月14日、本学NCD疫学研究センター 最先端疫学部門の矢野裕一朗教授とスタンフォード大学CAREがMemorandum of Understanding (MOU) (基本合意書) を締結いたしました。

《背景》

スタンフォード大学CARE (Co-Founder and Co-Director: Dr. Latha Palaniappan, Dr. Bryant Lin; Faculty: 池野文昭先生; 写真は下に掲載) は、世界中のアジア人におけるヘルス、教育、研究の向上を目的として2018年設立されたセンターです。本学NCD疫学研究センターは、従来から国際共同疫学研究に積極的に取り組んでおり、その実績も世界的に広く知られています。今回、MOUを締結することで、アジア人のヘルス向上に向けた共同疫学研究を推進していきます。持続的かつ互いに強化し合う研究者の国際交流を展開します。

《研究内容》

日本人、日系アメリカ人、アメリカ人のコホート研究データを比較することで、日本人特有の健康状態、心筋梗塞や脳梗塞発症に関連する危険因子などを明らかにし、質の高い個別予見医療を国内外で展開できる体制づくりを目指します。また、日本からアメリカに移住後、文化変容に伴う健康状態の変化に着目した研究を展開することで、将来日本人がアメリカに移住した際に、アメリカで安心かつ確かな医療をうけるようなエビデンスを創出していきます。

また、滋賀医科大学NCD疫学研究センターは、本邦だけでなくアジア各国からの留学生を受け入れております。スタンフォード大学CAREとの交換留学プログラムを通じて、国際共同疫学研究を牽引するリーダーを輩出し、世界と共に発展的存続を実現できる研究者の育成を目指します。



スタンフォード大学
CARE
Co-Founder and Co-Director: Dr. Latha Palaniappan



スタンフォード大学
CARE
Co-Founder and Co-Director: Dr. Bryant Lin



スタンフォード大学
CARE
Faculty: 池野文昭先生



スタンフォード大学
CARE
Tenzin Yeshe Wangdak Yuthok



滋賀医科大学NCD疫学研究センター
最先端疫学部門:
矢野裕一朗教授

《内容の詳細に関するお問い合わせ先》

滋賀医科大学NCD疫学研究センター 最先端疫学

部門 矢野裕一郎

TEL : 077-548-2191

e-mail : yyano@belle.shiga-med.ac.jp

《プレスリリース発信元》

滋賀医科大学総務企画課広報係（北川）

TEL : 077-548-2012

e-mail : hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp